

平成22年11月期 第1四半期決算短信

平成22年4月12日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 オプトエレクトロニクス
 コード番号 6664 URL <http://www.opto.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役会長
 四半期報告書提出予定日 平成22年4月14日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 俵 政美
 (氏名) 志村則彰

TEL 048-446-1181

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年11月期第1四半期の連結業績(平成21年12月1日～平成22年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年11月期第1四半期	2,477	5.7	229	5.5	138	40.7	111	159.5
21年11月期第1四半期	2,343	—	217	—	98	—	42	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年11月期第1四半期	19.94	—
21年11月期第1四半期	8.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年11月期第1四半期	15,190	4,200	27.7	638.57
21年11月期	14,447	3,694	25.6	701.99

(参考) 自己資本 22年11月期第1四半期 4,200百万円 21年11月期 3,694百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年11月期	—	—	—	0.00	0.00
22年11月期	—	—	—	—	—
22年11月期 (予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年11月期の連結業績予想(平成21年12月1日～平成22年11月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	4,485	—	160	—	75	733.3	45	—	8.55
通期	8,800	2.6	300	—	100	—	60	—	11.40

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページの「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年11月期第1四半期 6,578,000株 21年11月期 5,263,000株

② 期末自己株式数 22年11月期第1四半期 一株 21年11月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年11月期第1四半期 5,569,833株 21年11月期第1四半期 5,263,000株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間において当社グループは、前年同期比増収増益となりました。

当第1四半期連結会計期間の売上高は、スキャナ製品は前年同期比18.9%の売上減となったものの、モジュールその他製品が前年同期比60.3%増と大きく貢献し24億77百万円（前年同期比5.7%増）となりました。所在地別セグメントで示しますと、日本国内が8億72百万円と売上を伸ばし、米国では4億2百万円、欧州・その他地域では12億2百万円となりました。

利益面では、日本国内、米国の黒字転換により営業利益は2億29百万円（前年同期比5.5%増）となり、経常利益は1億38百万円（前年同期比40.7%増）となりました。また四半期純利益は1億11百万円（前年同期比159.5%増）となりました。

以上の結果、第1四半期においては順調に推移しましたが、通年見通しとしては、為替の動向が現時点で不透明な状況にあるため、当初計画どおりに据え置いております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は151億90百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億42百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加等によるものです。

負債は、長期借入金の減少はあったものの短期借入金の増加もあり109億89百万円となりました。

なお、純資産は42億円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は10億86百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億85百万円の増加となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は1億55百万円の収入（前年同期は2億21百万円の収入）となりました。主なプラス要因は、売上債権の増加額3億66百万円等であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は1億19百万円の支出（前年同期は1億15百万円の支出）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出1億17百万円等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は3億35百万円の収入（前年同期は2億13百万円の支出）となりました。主な要因は株式の発行による収入3億52百万円等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年11月期の連結業績予想は、当第1四半期の連結業績が前年同期と比較し増収増益となりましたが、通年見通しとしては、為替の動向が現時点で不安定な状況にあるため、当初計画どおりに据え置いております。よって、平成22年1月14日の決算短信で公表しました通期の業績予想による数字について現時点での変更はございません。

尚、第2四半期連結累計期間業績については、平成22年2月4日付「平成22年11月期第2四半期連結業績の修正に関するお知らせ」で公表しました業績予想による数字について現時点での変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行っております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によりしております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①会計処理の原則・手続きの変更

該当事項はありません。

②表示方法の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,092,167	710,011
受取手形及び売掛金	2,832,971	2,454,164
商品及び製品	2,631,188	2,573,493
仕掛品	15,503	18,563
原材料及び貯蔵品	1,780,681	1,612,826
繰延税金資産	58,633	39,341
その他	1,305,178	1,530,030
貸倒引当金	△67,200	△74,923
流動資産合計	9,649,123	8,863,508
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,354,733	2,386,665
機械装置及び運搬具(純額)	219,004	219,565
工具、器具及び備品(純額)	847,854	862,016
土地	1,151,840	1,151,840
建設仮勘定	211,937	204,628
有形固定資産合計	4,785,370	4,824,716
無形固定資産		
その他	428,660	443,624
無形固定資産合計	428,660	443,624
投資その他の資産		
投資有価証券	18,667	17,817
繰延税金資産	153,902	152,025
その他	171,784	162,974
貸倒引当金	△17,147	△17,177
投資その他の資産合計	327,207	315,639
固定資産合計	5,541,237	5,583,980
資産合計	15,190,361	14,447,489

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,321,017	1,307,602
短期借入金	4,047,369	3,503,699
1年内返済予定の長期借入金	895,062	1,273,299
1年内償還予定の社債	435,000	160,000
未払法人税等	17,712	16,827
設備関係支払手形	39,165	40,894
その他	715,975	475,356
流動負債合計	7,471,302	6,777,679
固定負債		
社債	475,000	780,000
長期借入金	3,012,766	3,164,706
繰延税金負債	30,755	30,517
固定負債合計	3,518,521	3,975,223
負債合計	10,989,824	10,752,903
純資産の部		
株主資本		
資本金	942,415	759,630
資本剰余金	843,056	660,271
利益剰余金	2,858,080	2,747,045
株主資本合計	4,643,552	4,166,946
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	349	△262
為替換算調整勘定	△443,365	△472,098
評価・換算差額等合計	△443,015	△472,360
純資産合計	4,200,536	3,694,586
負債純資産合計	15,190,361	14,447,489

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)
売上高	2,343,541	2,477,447
売上原価	1,340,621	1,391,520
売上総利益	1,002,919	1,085,927
販売費及び一般管理費	785,397	856,523
営業利益	217,522	229,403
営業外収益		
受取利息	7,052	630
為替差益	—	13,036
その他	5,410	4,173
営業外収益合計	12,463	17,840
営業外費用		
支払利息	44,877	50,439
新株発行費	—	12,794
為替差損	85,268	—
固定資産除却損	706	31
和解費用	—	45,060
その他	370	—
営業外費用合計	131,222	108,325
経常利益	98,763	138,918
特別利益		
貸倒引当金戻入額	243	318
特別利益合計	243	318
税金等調整前四半期純利益	99,006	139,237
法人税、住民税及び事業税	62,478	51,984
法人税等調整額	△6,255	△23,782
法人税等合計	56,223	28,201
四半期純利益	42,782	111,035

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	99,006	139,237
減価償却費	151,478	172,073
貸倒引当金の増減額(△は減少)	171	△7,970
受取利息及び受取配当金	△7,052	△630
新株発行費	—	12,794
支払利息	44,877	50,439
為替差損益(△は益)	△1,306	△528
有形固定資産売却損益(△は益)	706	31
売上債権の増減額(△は増加)	307,335	△366,164
たな卸資産の増減額(△は増加)	△303,360	△213,262
仕入債務の増減額(△は減少)	△282,144	9,535
その他	318,521	433,959
小計	328,233	229,513
利息及び配当金の受取額	7,052	630
利息の支払額	△42,266	△45,367
法人税等の支払額	△71,609	△29,309
営業活動によるキャッシュ・フロー	221,409	155,467
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△2,000
有形固定資産の取得による支出	△144,131	△117,548
無形固定資産の取得による支出	△24,434	△58
その他	52,695	30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△115,870	△119,576
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	113,300	535,453
長期借入れによる収入	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△444,355	△523,019
社債の償還による支出	△30,000	△30,000
株式の発行による収入	—	352,775
配当金の支払額	△52,630	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△213,685	335,209
現金及び現金同等物に係る換算差額	△245,824	14,048
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△353,970	385,149
現金及び現金同等物の期首残高	1,950,803	700,942
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,596,832	1,086,092

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成20年12月1日 至平成21年2月28日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年12月1日 至 平成22年2月28日)

当社及び連結子会社の事業は、バーコードリーダの製造、販売並びにこれらの付帯業務の単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありません。

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成20年12月1日 至平成21年2月28日)

	日本 (千円)	米国 (千円)	欧州 (千円)	アジア他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業利益							
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	611,489	312,376	1,345,356	74,318	2,343,541	—	2,343,541
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	666,227	—	65,556	—	731,783	(731,783)	—
計	1,277,716	312,376	1,410,912	74,318	3,075,325	(731,783)	2,343,541
営業利益又は営業損失(△)	△52,287	△2,669	226,085	8,147	179,275	38,246	217,522

当第1四半期連結累計期間(自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)

	日本 (千円)	米国 (千円)	欧州 (千円)	アジア他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業利益							
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	872,848	402,218	1,119,779	82,600	2,477,447	—	2,477,447
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	532,491	13,881	86,814	—	633,187	(633,187)	—
計	1,405,340	416,099	1,206,594	82,600	3,110,635	(633,187)	2,477,447
営業利益	84,679	49,222	106,794	3,783	244,479	(15,076)	229,403

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成22年2月8日付にてFP成長支援C号投資事業有限組合を割当先として第三者割当増資を実施いたしました。この結果、当第1四半期連結会計期間において資本金が182,785千円、資本準備金が182,785千円それぞれ増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が942,415千円、資本剰余金が843,056千円となっております。